

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院消化器内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2013年1月1日 ～ 2023年12月31日の間に、虎の門病院で直腸神経内分泌腫瘍に対して内視鏡治療を受けた方のうち、追加外科治療が必要と判断された方

【研究課題名】

直腸神経内分泌腫瘍に対する内視鏡非治療切除後におけるリンパ節転移関連因子および長期予後の検討

【研究の目的・背景】

《目的》

この研究では、直腸神経内分泌腫瘍（NET）に対して内視鏡治療を受けた患者さんの診療情報を用いて、リンパ節への転移に関連する特徴や、その後の経過について調べます。これにより、内視鏡治療後に追加の外科手術が必要となる患者さんをより適切に判断するために役立つことを目的としています。

《研究に至る背景》

直腸神経内分泌腫瘍（NET）は、比較的小さな病変では内視鏡による治療が行われます。内視鏡治療後の病理検査でリンパ節転移の可能性を高める所見が認められた場合には、追加の外科手術が検討されますが、どのような患者さんに追加手術が必要であるかについては、まだ十分に明らかになっていません。

リンパ節転移に関連する特徴や、追加手術を行った患者さんと経過観察となった患者さんの長期的な経過を明らかにすることで、将来的に追加手術の必要性をより適切に判断できるようになることが期待されます。

【研究期間】

2026年9月17日 ～ 2027年12月31日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌

等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院において研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報：診療録、内視鏡記録

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：消化器内科 ・ 早坂 淳之介

研究機関の長：院長 門脇 孝

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、 2027年3月31日 までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 消化器内科 ・ 早坂 淳之介

電話 03-3588-1111(代表)